

イー・トレード証券 オンラインセミナー

初心者のための信用取引 入門編

2007.3.6 Tue. 19 :00 ~ 20 :00

(株)フィスコアセットマネジメント
運用調査部 ポートフォリオマネージャー
奥山 徳雄

目次 (入門編)

- 信用取引のしくみ
 - リスクとリターンの関係
 - かしこい使い方
-
- 質疑応答

信用取引とは

◆株式売買の道具

使い方によってはキケン



必要



使い方次第



適量

正しく理解して、活用する

信用取引とは

- ◆証券会社に一定の保証金を差し入れて
お金や株券を借りて所定の期間内に株式の
売買をする事

買う(買い方)

買付資金を借りて株を買う
・金利がかかる

<空売り>

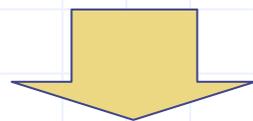
売る(売り方)

株券を借りて株を売る
・貸株料がかかる
・品貸料(逆日歩)

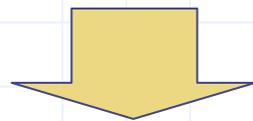
その他の諸費用は別途説明

信用取引の存在意義

投資家が信用取引を利用する事で
実需以外の商い (仮需要) が生まれる



売買が活発になり 流動性が保たれる



株価の変動の偏りを抑制
公正な価格形成!

信用取引をするには

- ◆ 信用取引口座が必要

口座開設基準の例

- ・75歳未満の成人

- ・常時連絡がとれる

- ・十分な金融資産 証券知識

- ・株式投資経験

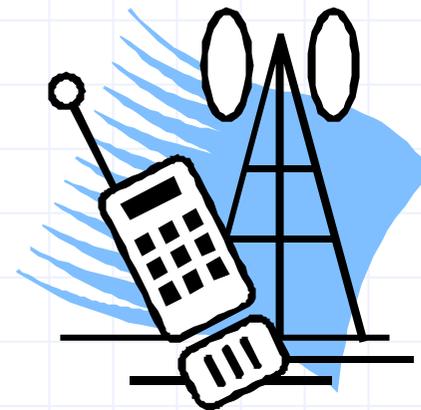
- ・既に口座開設をしている

- ◆ 審査が必要

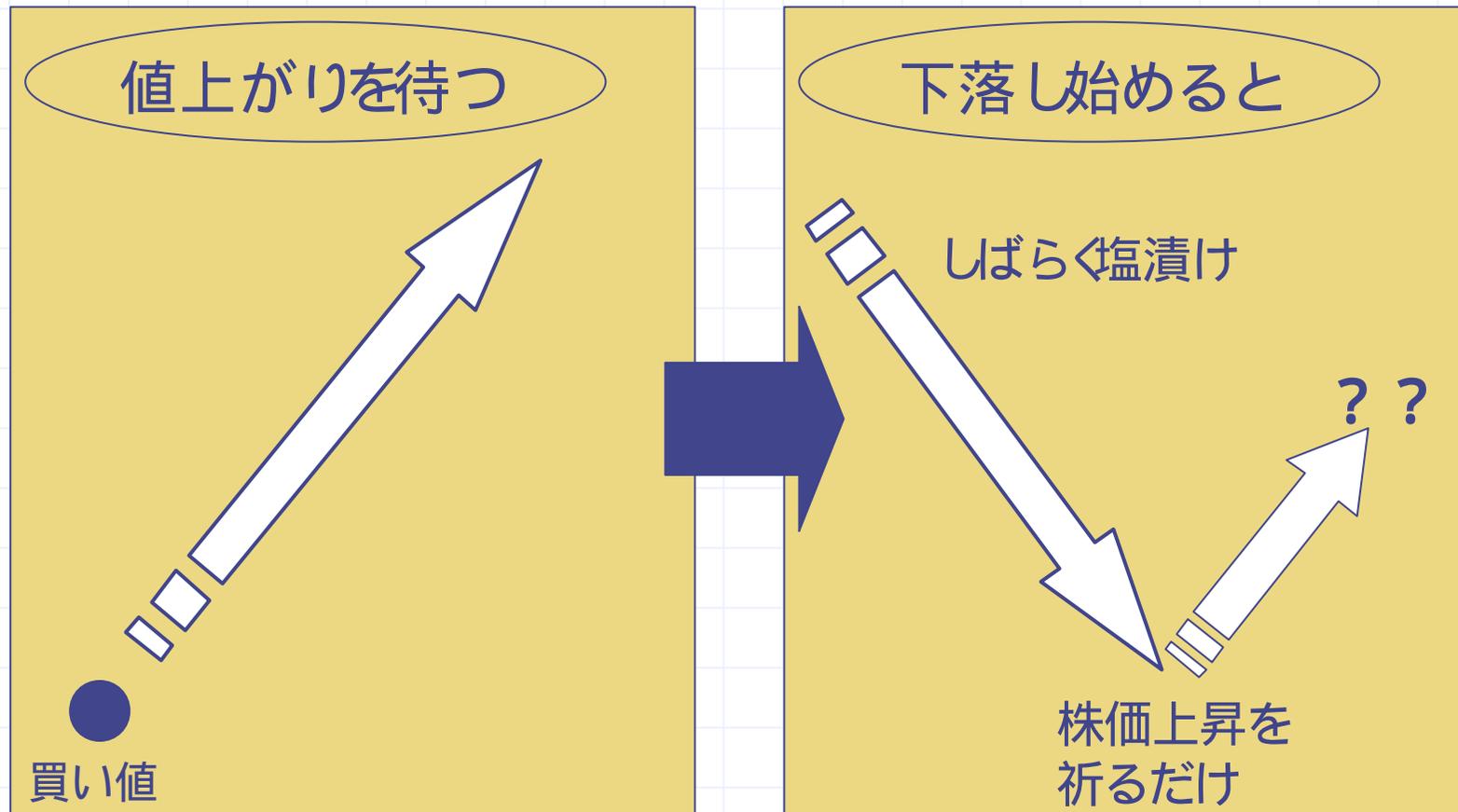
- ◆ 必要な書類

- 信用取引口座設定約諾書 (要 :収入印紙4,000円)

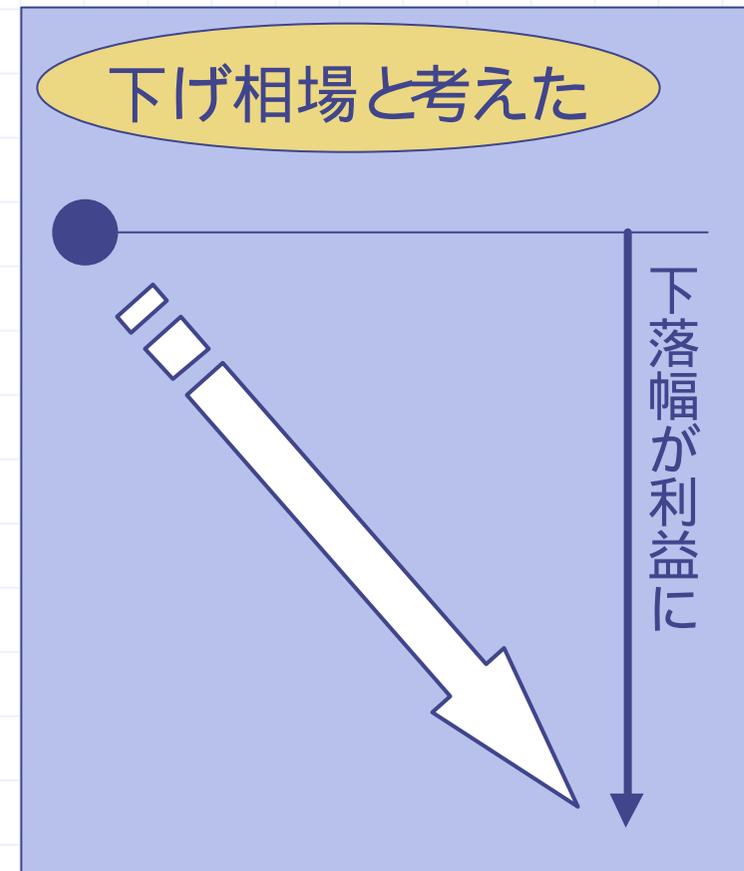
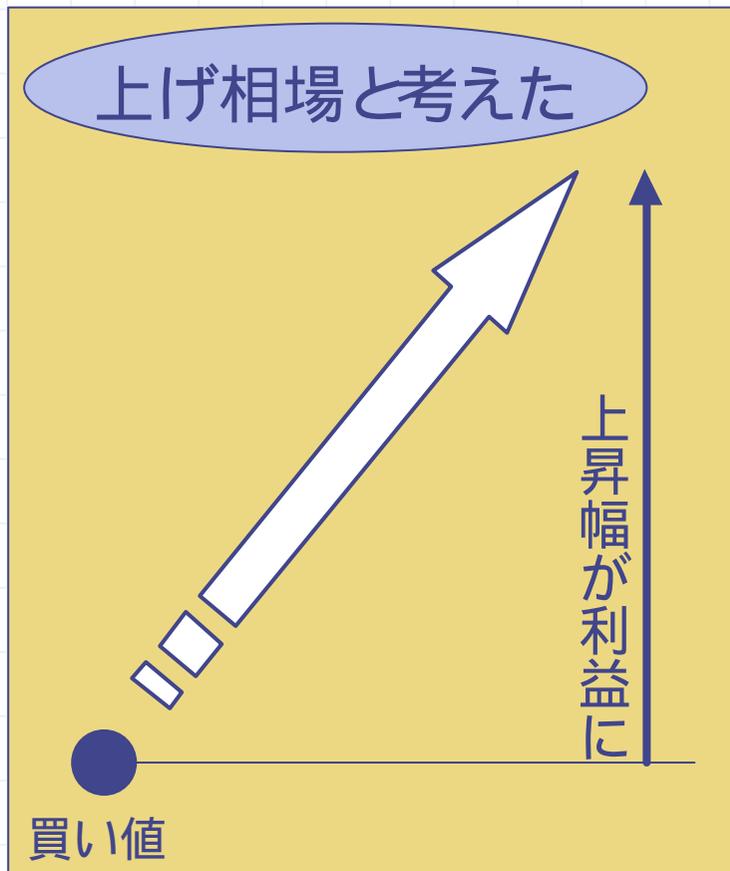
- 信用取引に関する覚書



現物取引 = 買いのみ



信用取引 = 買い・売りが可能



相場がどちらに動いても収益機会はある！！

リスクとリターンの関係

期限がない場合

	現物	信用	
	買い	買い方	売り方
最大損失	(会社が倒産した時) 買付代金	買付代金 + 金利	予測に反して株価が 上昇 +貸株料
最大利益	株価上昇 (無限大)	-金利	(会社が倒産) 売り値 - 0 = 売り値 - 貸株料

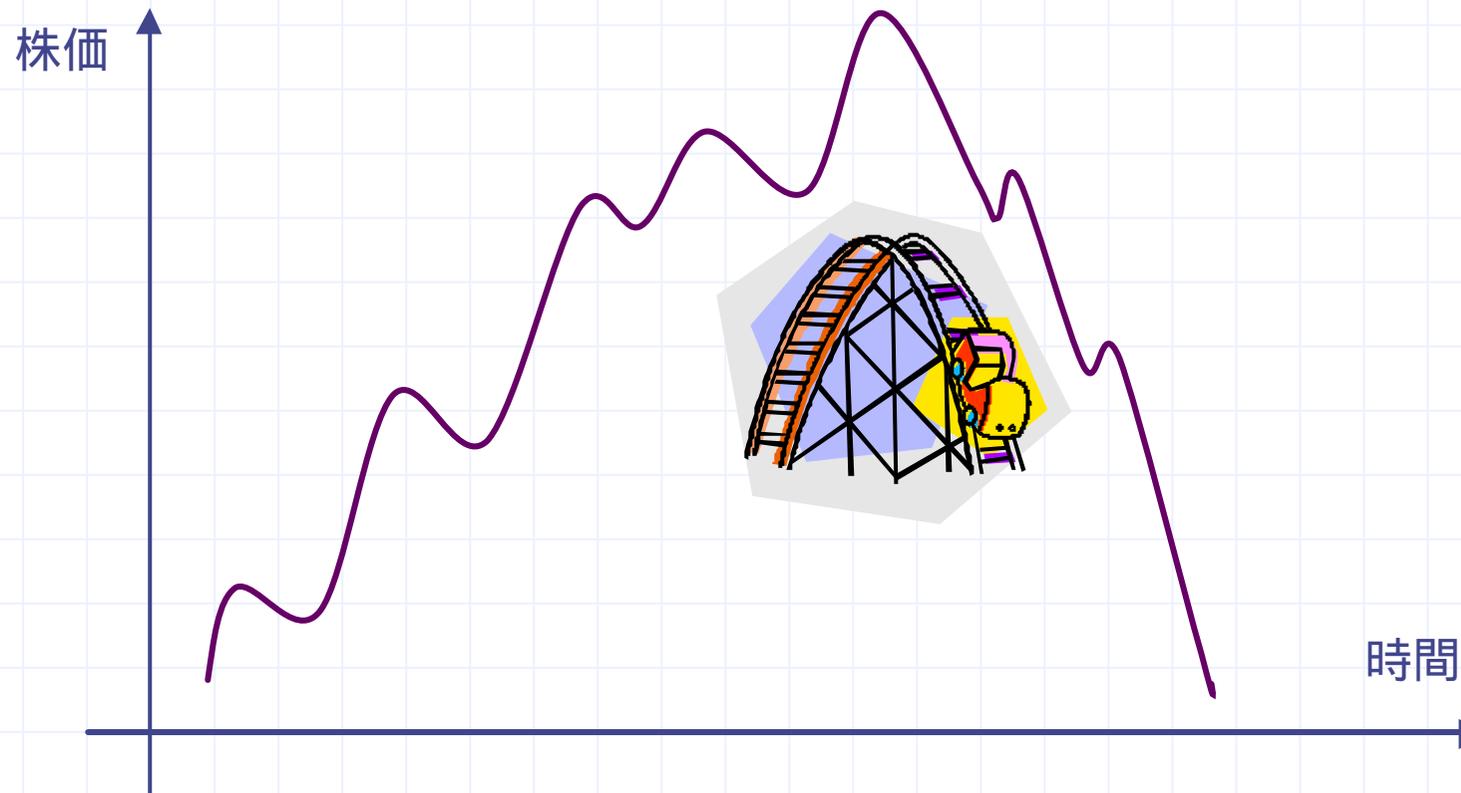
リスクとリターンの関係

期限がある場合

	現物	信用	
	買い	買い方	売り方
損失	悪材料で ストップ安	ストップ安 - 金利 (但し 追証発生 で手仕舞い)	ストップ高+貸株料 (但し 追証発生で 手仕舞い)
利益	ストップ高	ストップ高 - 金利	ストップ安 - 貸株料

株価のイメージ

◆ 上昇はゆっくり 下落は速い



株価上昇と下落の関係

◆ 日経平均 過去30年間の検証
(1976年6月 ~ 2006年5月)

	日数	一日あたりの平均変化率
上昇	4,146日	+ 0.0210%
下落	3,756日	- 0.8195%



その差
約40倍!

平均 0.0154%

ここが違う！ 信用取引と現物取引

1.取引の種類

信用取引

- ◆ 信用買い (買う 売る)
- ◆ 信用売り (売る 買い戻す)
- ◆ つなぎ売り (売る 現渡し)

現物取引

- ◆ 現物買い

ここが違う! 信用取引と現物取引

2.取引金額

信用取引

保証金が現金なら
自己資金の約3倍

現物取引

自己資金の
範囲内

ここが違う! 信用取引と現物取引

3.収益面

信用取引

- ◆ 値上りでも利益 (買い)
- ◆ 値下りでも利益 (売り)
- ◆ 保有株の値下りをカバー

現物取引

- ◆ 買って値上りを待つ
- ◆ 株主としての権利
(配当・株主優待・議決権)

ここが違う！ 信用取引と現物取引

4.コスト

信用取引

- ◆ 売買手数料
- ◆ 管理費
- ◆ 買い方・・・金利
名義書換料
- ◆ 売り方・・・貸株料
品貸料 (逆日歩)

現物取引

売買手数料

ここが違う！ 信用取引と現物取引

5. 決済期限

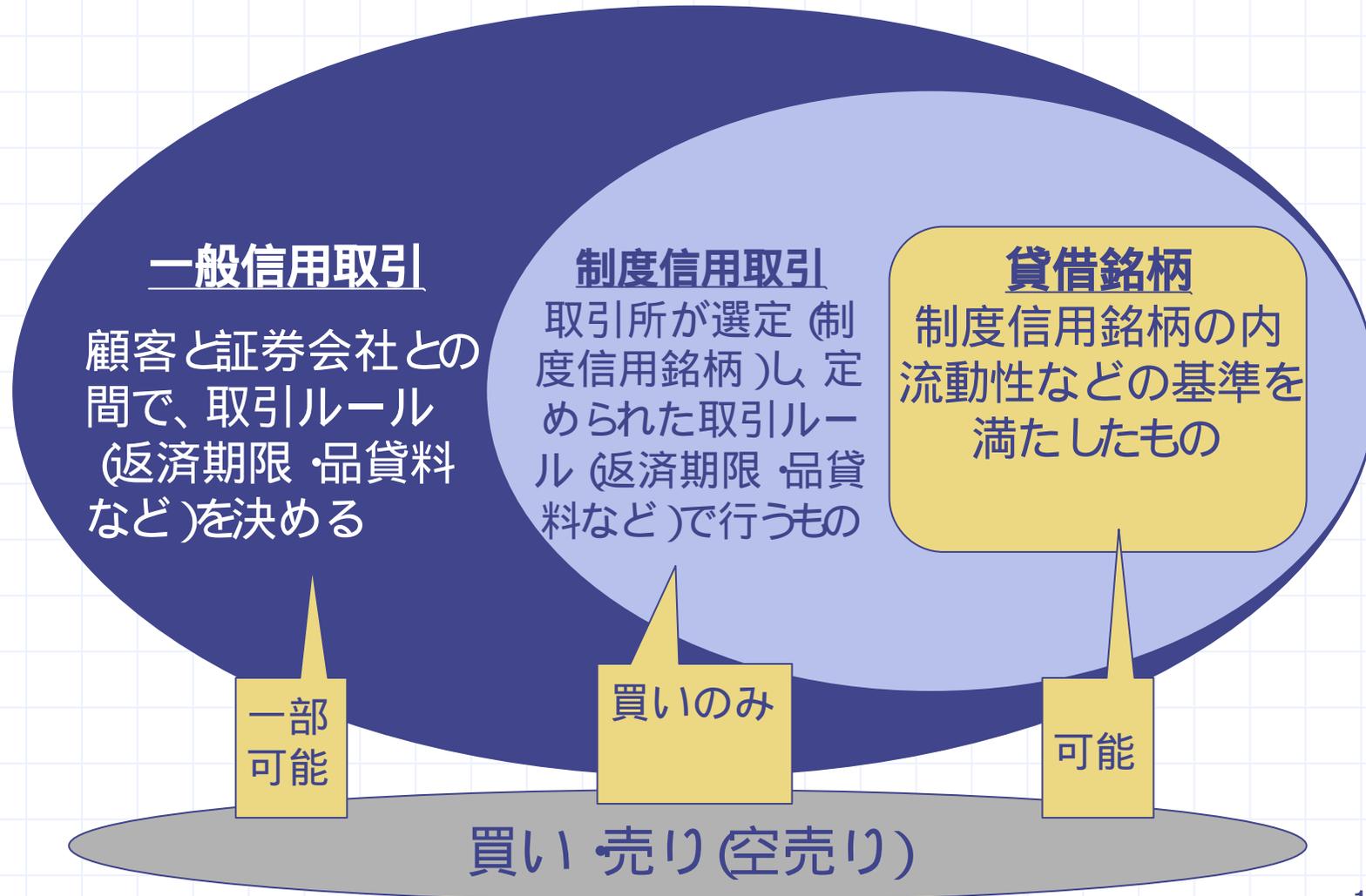
信用取引

売買した日から
6ヶ月以内に決済する
(制度信用取引)

現物取引

基本的にナシ

売り(空売り)できる株・買いだけの株



制度信用取引と一般信用取引

イー・トレード証券の場合

	一般信用取引	制度信用取引
取扱銘柄	ほぼ全ての銘柄	制度信用銘柄
返済期限	原則なし	6ヶ月
売買	買いのみ	買い、売り
最低委託保証金	30万円(両取引の建玉を合算)	
委託保証金率	33%以上(両取引の建玉を合算)	
代用掛目	80%	
金利	買い方金利 :3.3% 売り方金利 :-	買い方金利 :2.3% 売り方金利 :0%
信用取引貸株料率	-	1.15%
管理費	1ヶ月ごとに105円～1,050円(税込)	
名義書換料	-	買い方 :権利を取った時 1売買単位あたり52.5円(税込)

追証とは？

- ◆ 最低限必要な委託保証金 (担保) が、評価損の拡大や代用有価証券の値下がり等で足りなくなった場合 (最低委託保証金率を下回ること) に追加で差し入れなければならない委託保証金のこと

イー・トレート証券の場合

委託保証金率	33%
最低委託保証金率 (維持率)	30%

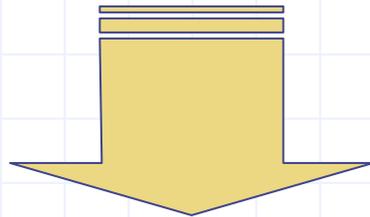
追証が発生した場合、必ず入金しなければならず
入金しない時は強制的に決済される場合がある

追証を防ぐには

◆ 売買ルールを作る

(例) 利益確定は20%

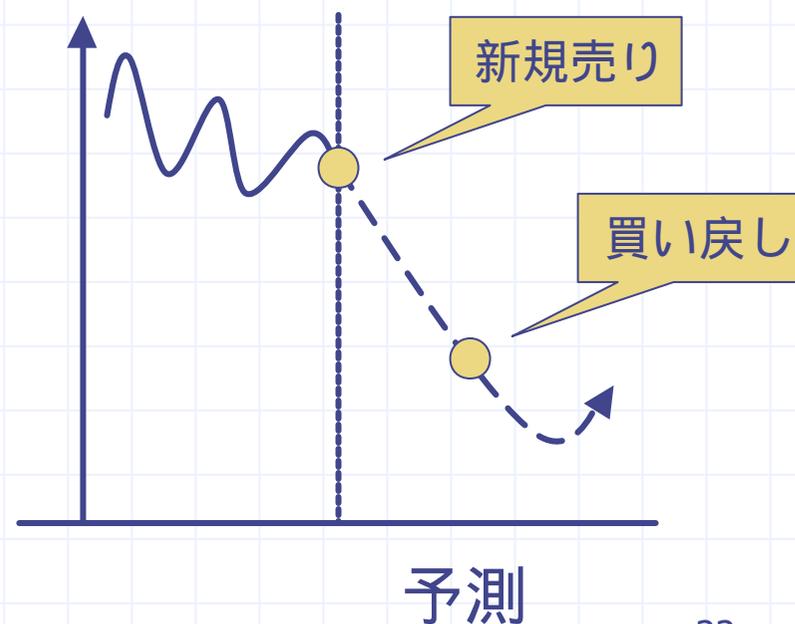
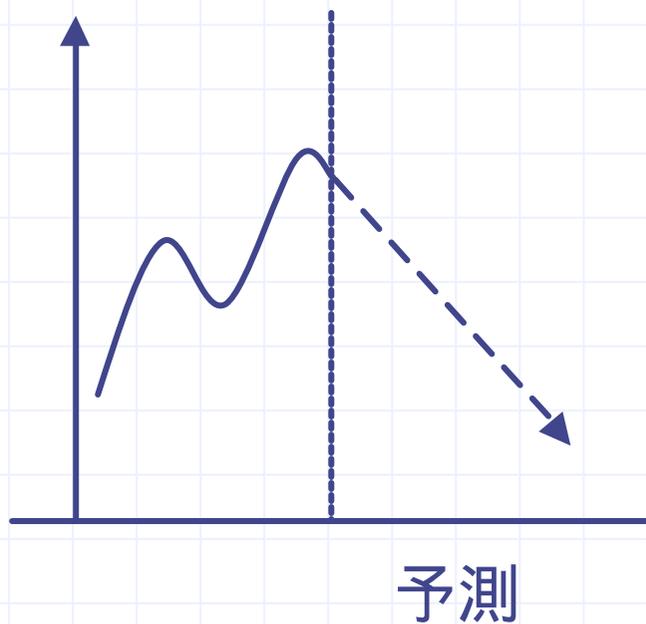
ロスカットは10%



良いルールを作ることよりも、守ることが重要で難しい

ヘッジ取引

◆ 保有株式の値下がりヘッジする
→ 売り建て



レバレッジ取引

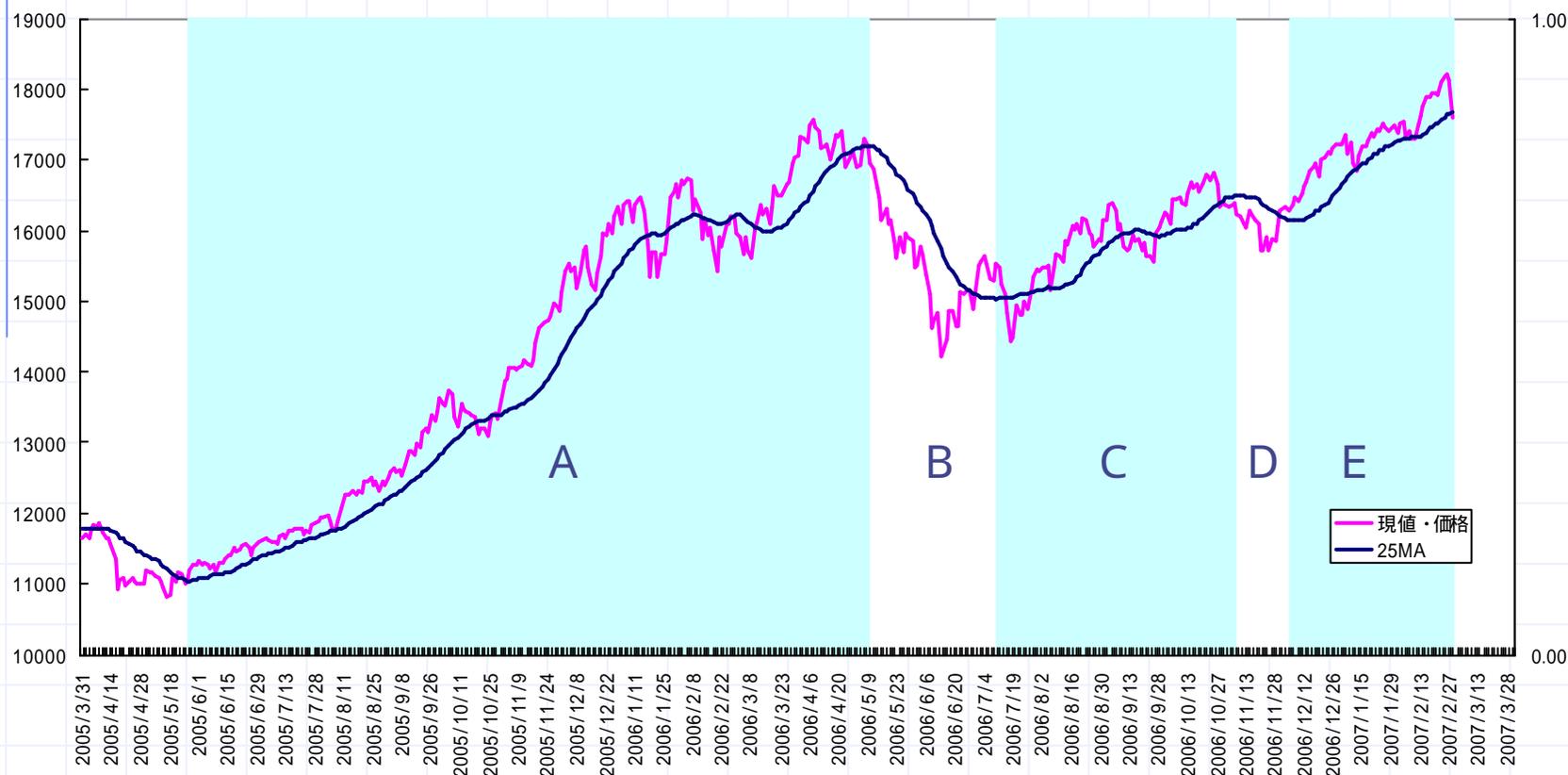
◆100万円の委託保証金があれば・・・

100万円 ÷ 33% 最大303万円まで建てられる
↓ 3%の変動で追証
安心していただけない!

建玉	委託保証金率	追証までの評価損
100万円	100%	70万円 (-70%)
200万円	50%	40万円 (-20%)
300万円	33%	10万円 (-3.3%)

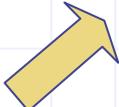
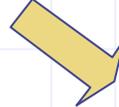
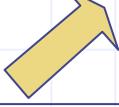
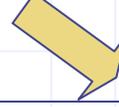
売買はトレンドが大切

日経平均、25日移動平均線の推移



トレンドは25日移動平均線で確認！

日経500種採用銘柄を例にすると

期間	トレンド	TOPIX	値上がり		値下がり	
			銘柄数	騰落率	銘柄数	騰落率
A		53.0%	472	56.8%	28	-16.0%
B		-14.6%	46	6.0%	454	-16.7%
C		4.51%	299	13.8%	201	-8.0%
D		-0.09%	226	5.2%	274	-4.6%
E		9.6%	381	14.5%	119	-7.1%

重要なポイント

トレンドに逆らわないこと

信用取引とは

◆株式売買の道具

使い方によってはキケン



必要



使い方次第



適量

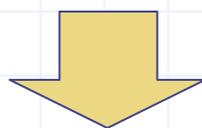
正しく理解して、活用する

信用取引通信講座 開講中

「実践株式信用取引講座」

－実践的で応用が効く！－

詳細・お申込のHPアドレスはこちら



<http://fisco.jp/affil/etra/pr-ffc0410/>

-参考-

信用取引で必要な値を求める公式集

新規建に必要な委託保証金を求める

$$\text{必要委託保証金} = \text{約定金額} \times \text{委託保証金率}$$

《前提条件》 委託保証金率 33%

《投資例》 単価700円、5,000株の買建

《計算式》 $700 \times 5,000 \times 33\%$ 115.5万円

-参考-

信用取引で必要な値を求める公式集

委託保証金を株券で代用する場合の代用有価証券担保評価額を求める

$$\begin{aligned} & \text{代用有価証券担保評価額} \\ & = \text{代用有価証券時価評価} \times \text{掛目} \end{aligned}$$

《前提条件》 掛目 :80%

《投資例》 単価125,000円、50株を抛出

《計算式》 $125,000 \times 50 \times 80\%$ 500万円

-参考-

信用取引で必要な値を求める公式集

委託保証金を株券で代用する場合に必要な代用有価証券の時価評価を求める

$$\begin{aligned} & \text{必要な代用有価証券の時価評価} \\ & = \text{委託保証金} \div \text{掛目} \end{aligned}$$

《前提条件》 掛目 :80% 委託保証金率 :33%

《投資例》 単価85万円、5株の売建、委託保証金を株券で

《計算式》 $(85万 \times 5 \times 33\%) \div 80\%$

時価176万円の株券

- 参考 -

信用取引で必要な値を求める公式集

取引開始後、ある時点の委託保証金率を求める

$$\begin{aligned} \text{ある時点の委託保証金率} = & \\ & (\text{受入保証金} - \text{評価損益合計}^1 - \text{受渡未到来の決済損合計}^2) \\ & \div \text{建玉代金合計} \end{aligned}$$

1 評価損益合計がマイナス (損) の時のみ差し引き、プラス (益) の時は損益ゼロで計算する

2 決済益との差引きではなく、決済損のみの合計

《前提条件》 委託保証金率 33%

《投資例》 単価500円、5千株の売建、現在530円

《計算式》 $\{500 \times 5千 \times 33\% - (530 - 500) \times 5千\}$
 $\div 250万 \quad 27\%$



当資料は主として(株)フィスコアセットマネジメントが入手したデータ、もしくは信頼できると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。

当資料に掲載されている数値・図表等は特にことわりのない限り当資料作成日現在のものです。尚、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益等の獲得を示唆ないし保証するものではありません。

最終的な投資判断はご自身でお願いいたします。

株式会社フィスコアセットマネジメント